



▲新車両基地建設工事着工式（前列左から、勝俣衆院議員・鈴木県知事・頼重市長・渡辺衆院議員）

**着工！新車両基地**

令和6年11月に、片浜地区で新車両基地の着工式が行われました。  
この工事は、現在、沼津駅東側、富士見町付近に位置する車両基地を移転するものです。事業主体である県の鈴木知事や頼重市長など関係者が出席し、工事の安全を祈願して鉄入れを行いました。

車両基地は、電車の車両を留め置いたり整備・洗浄したりする場所です、日々の安全で安心な鉄道運行に不可欠な施設です。令和12年度の完成を目指して工事を進めていきます。



▲新車両基地の完成予想図

片浜地区では、新車両基地の建設に先行して、市が行う都市計画道路「片浜西沢田線」など周辺道路の整備が進行中です。片浜西沢田線は、東海道本線の線路と新車両基地の地下を南北に貫く道路で、国道1号と旧国道1号がつながり、南北の交通がスムーズになります。

市では引き続き、道路をはじめとしたインフラ整備による生活環境の向上を図るとともに、片浜地区のまちづくりを進めます。

「鉄道高架事業」は、現在中心市街地にある車両基地、貨物駅を移転し、沼津駅周辺の東海道本線3.7キロメートル、御殿場線1.6キロメートルの線路を高架化する事業です。

車両基地、貨物駅を移転するのは、鉄道の運行を維持しながら高架橋の工事を行うとともに、それぞれの広大な跡地を、今後のまちづくりに活かしていくためです。

現在、車両基地を片浜地区に、貨物駅を原西部地区に移転するための建設工事を実施中です。

これらの工事の進捗に合わせて、市では将来の沼津駅舎や駅前広場、高架下空間等の機能配置や施設規模を踏まえたデザイン検討を始めています。さらに、貨物駅や車両基地の移転後に生まれる跡地の活用に関する取組を進めているところです。

高架化工事の完了は令和23年度を目指しており、線路などの跡地ではその後、土地区画整理事業等によるインフラ整備や宅地造成を行います。

**将来の姿が見え始めた  
新貨物ターミナル**

原西部地区で行われている新貨物ターミナル整備工事は、新中川の西にある貨物駅を移転するための工事です。着工から1年余りが経過し、令和9年度の完成に向けて着実に工事が進められ、将来の姿が見え始めました。

コンテナの積み下ろしを行うコンテナホームや、大型トラックなどがコンテナホームに入り出するために線路を跨ぐ跨線橋などは、電車の車窓や敷地の外からもその姿を確認することができます。

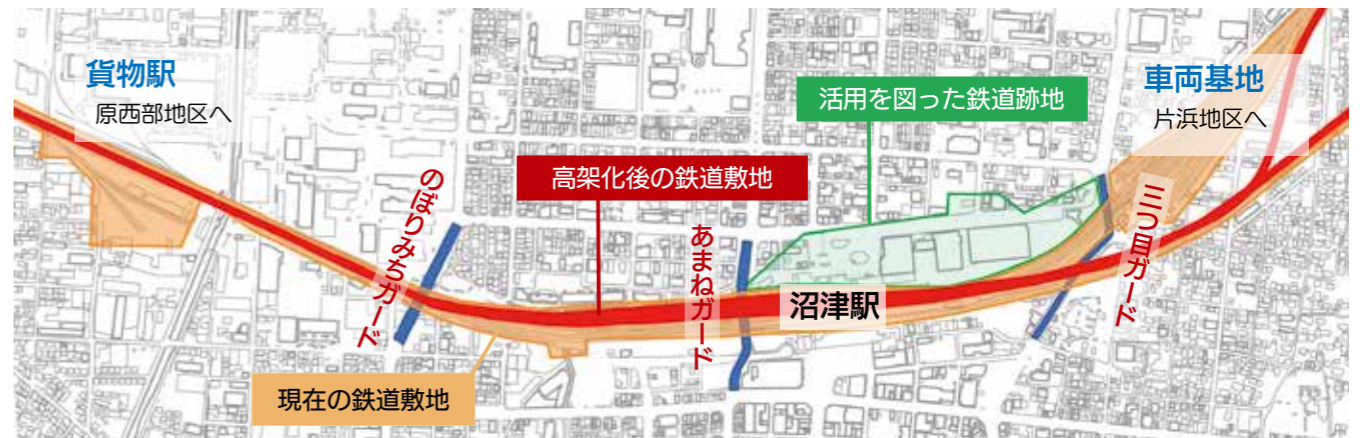


▲建設中の跨線橋

▼新貨物ターミナルの完成予想図



▼広大な跡地が生まれる沼津駅周辺



また、用地の中央付近では、東海道本線の線路と新貨物ターミナルの地下を南北に貫く「一本松アンダー道路」の整備も進めています。

現地の様子は、市ホームページに空撮動画などを掲載してお知らせしています。工事の進捗に合わせて随時更新していきますので、ぜひご覧ください。

[広報めまづ](#) [検索](#)